

イーストスプリング米国小型厳選バリュー株ファンドAコース (為替ヘッジあり)

追加型投信/海外/株式

イーストスプリング米国小型厳選バリュー株ファンドBコース (為替ヘッジなし)

追加型投信/海外/株式

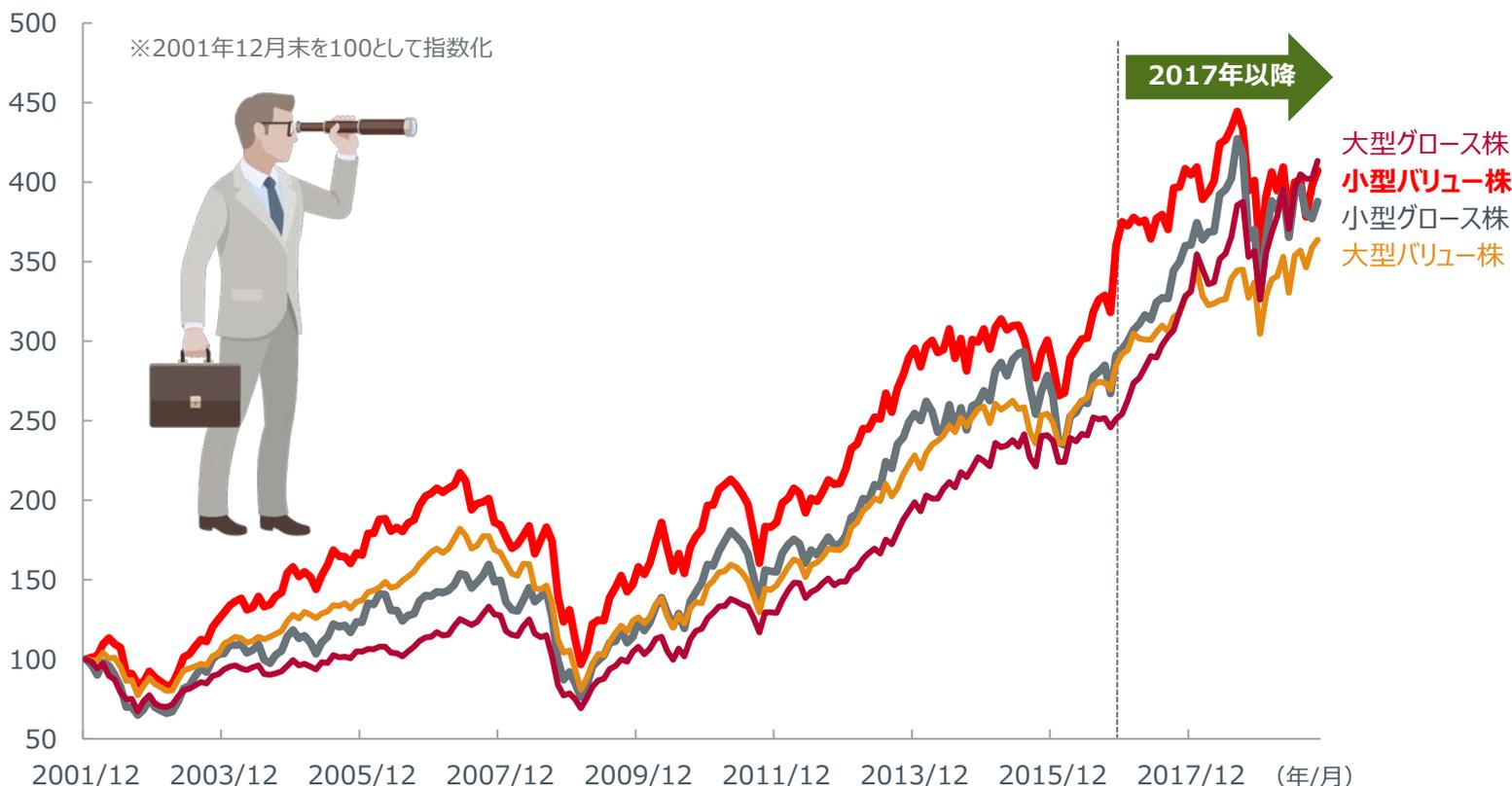
## 今注目したい米国小型バリュー株への投資機会

米国株式市場において、2019年9月頃から小型バリュー株のリターンが小型グロース株を上回る局面が見られています。今回のバリュー株の上昇が始まるきっかけとなったのは、年初から低下してきた米国の長期金利が9月に反転したことと考えられます。バリュー株は過去数年間にわたって相対的に低調なパフォーマンスで推移しており、バリュー株のグロース株に対するバリュエーション格差は過去15年で最大の水準にまで拡大しています。米国の緩やかな景気回復が続く中、企業業績が堅調な優良小型バリュー株に注目が集まっています。本レポートではバリュー株の投資機会と米国小型厳選バリュー株ファンドの魅力について、ご説明いたします。

➤ **米国株式を運用スタイル別にみると、小型バリュー株のパフォーマンスは2017年以降は相対的に低調となっていますが、2001年末から2016年末までの15年間では、他の運用スタイルと比較して高いリターンを記録しています。**

### 運用スタイル別 米国株式指数の推移

(2001年12月末～2019年10月末)



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※小型バリュー株はラッセル2000バリュー、小型グロース株はラッセル2000グロース、大型バリュー株はラッセル1000バリュー、大型グロース株はラッセル1000グロース。配当込み、米ドルベースを使用。

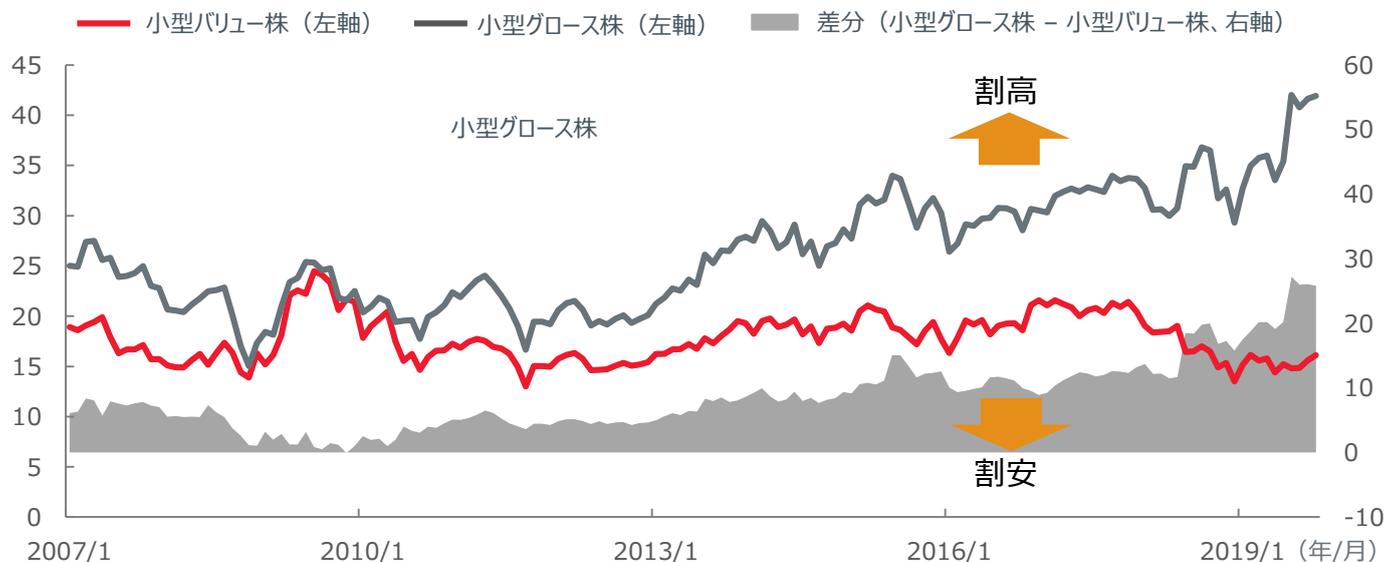
➤ 米国の小型バリュー株は2001年末から2016年末までの期間において相対的に高いリターンを記録していますが、近年（2017年以降）は、大型グロース株に資金が集中する市場環境の中で相対的に低調なパフォーマンスとなっていました。

➤ 一方、2019年9月に1.5%を下回っていた米10年債利回りが一時1.9%台まで急上昇しました。長期金利の上昇はグロース株の魅力度を低下させ、また代表的なバリュー株とされる銀行セクターなどの業績にプラスとなるとの見方などから、バリュー株を選好する動きが起き始める可能性もあります。

➤ **米国小型グロース株と小型バリュー株のバリュエーション格差：  
過去12年で最大の水準まで拡大**

**米国小型株のPER（株価収益率）の推移**

（2007年1月末～2019年10月末）



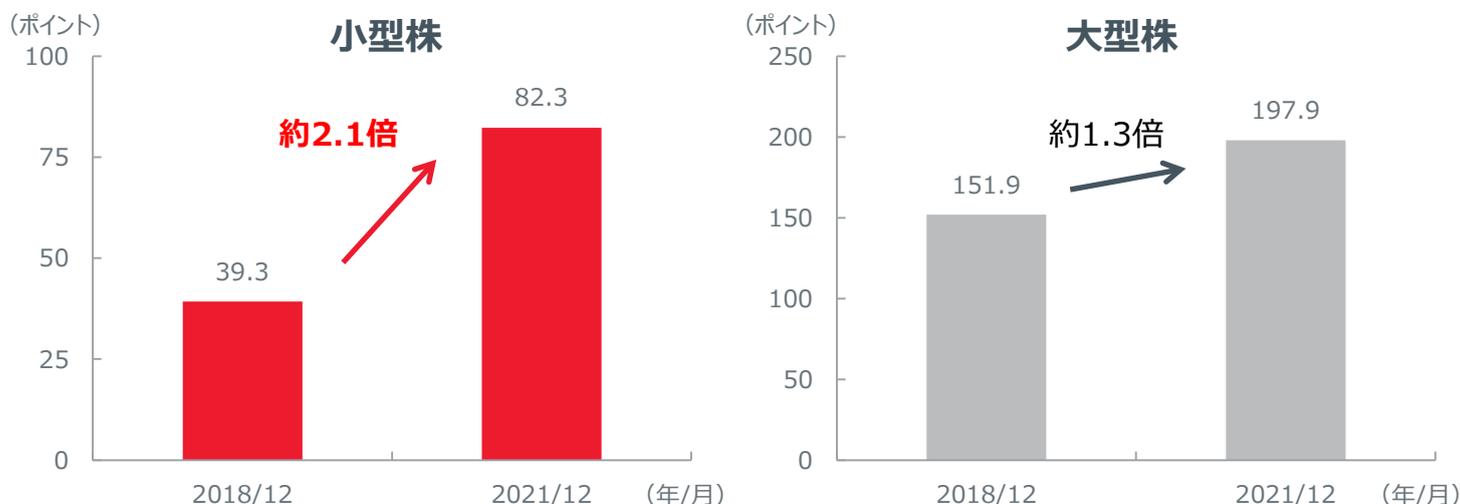
出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。  
※小型バリュー株はラッセル2000バリュー、小型グロース株はラッセル2000グロース。

➤ PER（株価収益率）で見ると、近年はグロース株の割高感が強まっている傾向にあります。特にその傾向は米国小型株で顕著に表れており、小型グロース株と小型バリュー株のバリュエーション格差は過去15年で最大の水準まで拡大しています。

➤ **米国小型株の企業業績の予想成長率は、大型株を大きく上回る**

**米国小型株および大型株のEPS（1株当たり利益）成長予想**

（2018年12月、2021年12月予想値）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。  
※小型株はラッセル2000指数、大型株はS&P500を使用。EPS予想値は2019年11月1日時点のBloomberg予想。

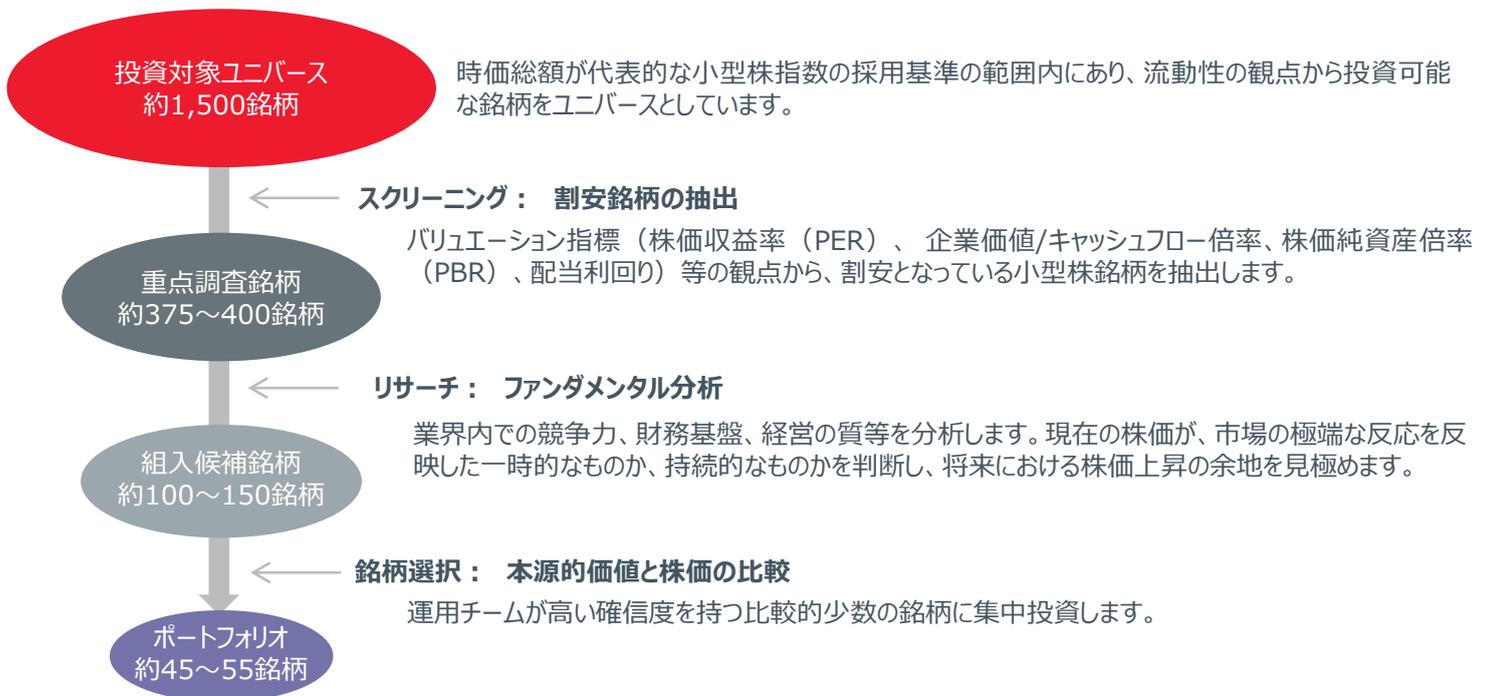
➤ 2019年からの3年間の予想EPS成長率を比較すると、米国小型株は大型株を上回る成長が予想されています。小型株は相対的に高い利益成長率が期待できる資産クラスですが、アナリストのカバレッジが相対的に狭いなど、利用可能な情報が限られるため、経営戦略や財務基盤などを十分に分析して厳選して投資を行うことが重要です。



## ケヴィン・マクロスキー（PPM・アメリカ・インク）

- ・CFA協会認定証券アナリスト
- ・シニア・マネジング・ディレクター
- ・上場株式運用チーム責任者

### ▶ 当ファンドのポートフォリオ構築プロセス



上記は資料作成時点のプロセスであり、今後変更する可能性があります。

### ▶ 銘柄選択のポイント

#### ① 独自のバリュー運用哲学

運用チームでは、「株価は企業が行う事業の価値によって決定される」と考えています。一方、株式市場は短期的な評価に左右されて動く傾向があり、事業価値から株価が大きく乖離する局面が見られます。運用チームはここに投資機会を見出しています。

運用チームのバリュー運用プロセスは、株式市場全体に対して相対的に割安に放置された銘柄を探求し、事業内容を十分に理解した上で、なお割安であると判断された魅力的な銘柄に厳選して投資を行います。

#### ② 投資する小型株への深い理解

銘柄選定の際は、企業の事業内容とその強みを理解することが必要です。そのため投資を行う前には企業の経営戦略の進捗、財務基盤の健全性などについて企業との対話を含めて深く調査を行います

特にセルサイド・アナリストのカバレッジが相対的に狭い小型株市場では、大型株と比べて市場での銘柄の評価に偏りが見られることから、独自のリサーチで事業の価値を分析して投資機会を発掘する手法が有効であると考えています。

#### ③ 少人数合議制による意思決定

銘柄のリサーチに関しては、株式運用の長い経験を持つチームヘッドのケヴィン・マクロスキーに加え、平均22年超の業界経験を持つ投資プロフェッショナルがセクター担当制を敷いて調査を行っています。

組入銘柄の選定に関しては、同じ権限を持った5名のポートフォリオ・マネジャーによる合議制を採用しています。これには投資銘柄への理解を共有し、またチームメンバーと公正かつバランスのとれた議論を行える様にしています。

## 保有銘柄（2019年10月末時点）のご紹介①

### スケッチャーズUSA （耐久消費財・アパレル）

#### ◆企業概要

- スケッチャーズ社はカリフォルニア州マンハッタンビーチに本社を持つ国際的なシューズメーカーです。
- デザイン性に優れ、快適な履き心地のシューズを提供することを理念として、グローバルでマーケティング戦略を展開しています。

#### 株価の推移（2008年10月～2019年10月）



出所：PPM・アメリカ・インク

#### ◆スケッチャーズUSA：運用担当者の視点

強み	「アスレジャー」と呼ばれるスポーツウェアを日常生活に取り入れるスタイルが人気化する中で、同社のカジュアルかつファッショ性の高いスポーツシューズは高い競争力を発揮すると見えています。
経営層の印象	マネジメントは堅調な売上成長を維持してきた実績を持っています。またコスト削減努力を継続することで利益率の拡大を目指す戦略は評価できるものと考えます。
今後の見通し	新興国等で行っている積極的なマーケティングから今後の成長が期待できます。同社の健全な財務状況を考慮すると拡大の素地は十分であり、現在の株価は今後の成長期待に対して割安だと考えます。

出所：PPM・アメリカ・インク

### スカイウエスト （運輸）

#### ◆企業概要

- スカイウエスト社はユタ州セントジョージに本社を構える航空輸送事業を手掛ける持株会社です。
- 傘下のスカイウエスト航空は米国内の主要航空会社から委託を受けて、地方都市間の航空輸送サービスを展開しています。

#### 株価の推移（2008年10月～2019年10月）



出所：PPM・アメリカ・インク

#### ◆スカイウエスト：運用担当者の視点

強み	出張やレジャー目的の渡航者の増加により、地方都市間の航空サービス需要も堅調です。リージョナル航空会社として長い実績を持つ同社は、需要を獲得する良好なポジションにいると考えています。
経営層の印象	マネジメントは堅実な経営方針を持つ一方、株主還元にも積極的です。同社が稼ぐフリーキャッシュフローの一部を自社株買いや配当の形で株主への還元を継続してきた実績があります。
今後の見通し	同社はコスト削減の一環として小型機の割合の見直しや全体的な航空機の削減を継続的に行っています。このような取り組みが将来の収益性の向上につながり、市場の評価も見直されると考えています。

出所：PPM・アメリカ・インク

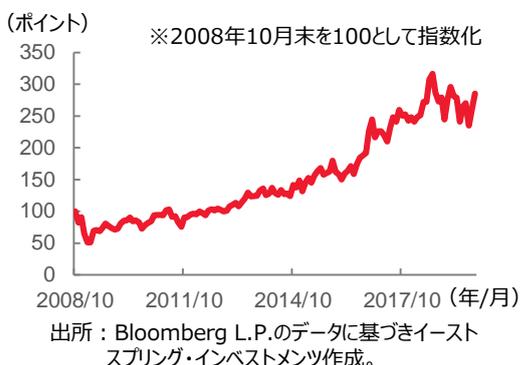
➤ 保有銘柄（2019年10月末時点）のご紹介②

インディペンデント・バンク  
(銀行)

◆ 企業概要

- インディペンデント・バンク社はマサチューセッツ州に本拠を置く持株会社で、Rockland Trust Bankという総合金融機関を傘下に持ちます。
- 提供するサービスはビジネス向け、リテール向け、消費者金融、インベストメント・マネジメントなど多岐にわたっています。

株価の推移（2008年10月～2019年10月）



出所：PPM・アメリカ・インク

◆ インディペンデント・バンク：運用担当者の視点

強み	同社は安定した預金基盤を持ち、健全かつ収益性の高い貸出ポートフォリオを有しています。同社の堅実な収益性に対して、相対的に株価は割安であると判断しています。
経営層の印象	運用担当者は同社が継続して高い資本効率を維持してきた実績を評価しています。また更なる収益性の向上を目指して収益構成を見直すなどの経営改善努力を怠らない点も評価ポイントです。
今後の見通し	マサチューセッツ州における営業ネットワークを生かした安定的な収益成長が期待できます。また同社はM&Aによって営業基盤を拡大しており、買収によるシナジー効果が市場から評価を得ると考えます。

出所：PPM・アメリカ・インク

CACIインターナショナル  
(ソフトウェア・サービス)

◆ 企業概要

- CACIインターナショナル社はヴァージニア州アーリントンに本社を構えるITソリューションサービスを提供する会社です。
- 主に米国の連邦政府や海外向けにビジネス用システムやサイバーセキュリティ、情報統制サービスなどを提供しています。

株価の推移（2008年10月～2019年10月）



出所：PPM・アメリカ・インク

◆ CACIインターナショナル：運用担当者の視点

強み	同社は提供するサービスの質の高さを生かして、複数の米国政府機関からの事業を受託しています。今後も防衛などの分野の需要が継続すると見られ、同社はこのトレンドの恩恵を受けると考えます。
経営層の印象	緩やかな利益率の拡大というマネジメントの現実的な目標は、実現性の観点から評価できるものと考えます。またキャッシュフローを選別的にM&Aに振り向ける施策も評価ポイントです。
今後の見通し	今後も安定的に新規ビジネスの獲得が継続すると見られるほか、利益率の改善を目指して事業構成の見直しが進むと想定しています。これらが実績として現れることで市場の評価も高まると見えています。

出所：PPM・アメリカ・インク

## 保有銘柄（2019年10月末時点）のご紹介③

### ヘレン・オブ・トロイ （耐久消費財・アパレル）

#### ◆企業概要

- ヘレン・オブ・トロイ社はテキサス州エルパソに本社を持つ家庭用品や美容用品のメーカーです。
- 家庭用シェーバーや空気清浄器、ドライヤー、キッチン用品などで世界的に知名度のある製品の製造・販売を行っています。

#### 株価の推移（2008年10月～2019年10月）



出所：PPM・アメリカ・インク

#### ◆ヘレン・オブ・トロイ：運用担当者の視点

強み	同社は展開する製品の高いブランド力などを背景に高い収益性を維持しています。今後も消費者のニーズに合わせたプロダクトラインアップを継続させると考えると、現在の株価は魅力的だと考えています。
経営層の印象	マネジメントは収益性の高い製品カテゴリーに注力し、その収益をブランド力の高い新製品の開発に充てるという戦略を採っています。継続的な製品開発への取り組みは評価できるものと考えます。
今後の見通し	製品のブランド力の高さを背景に今後も海外部門を含めて堅調な業績が期待できるほか、成長するオンライン部門の売上への期待も株式市場で評価が見直される契機になると考えます。

出所：PPM・アメリカ・インク

### ベルデン （テクノロジー・ハードウェアおよび機器）

#### ◆企業概要

- ベルデンはミズーリ州セントルイスに本社を構える主にネットワーク関連機器に強みを持つ電子部品メーカーです。
- 企業や産業用向けに、通信ケーブル、接続部品、ネットワーク機器、ソフトウェアの製造・販売を行っています。

#### 株価の推移（2008年10月～2019年10月）



出所：PPM・アメリカ・インク

#### ◆ベルデン：運用担当者の視点

強み	同社は提供するプロダクトの競争優位性などを背景に、安定的にキャッシュフローを稼いできた実績を持っています。また利益率の改善への取り組みを通じて、ROEを高く維持している点も評価ポイントです。
経営層の印象	同社は内部成長を補うためにM&Aを活用して外部成長の機会を探っていく方針を示しています。また収益性の低い事業についてはリストラを検討すると表明している点も評価しています。
今後の見通し	産業のオートメーション化やネットワークセキュリティ強化などのトレンドが一層明確になる中で、同社のブランド力と信頼性のあるプロダクトやサービスへの強い需要は今後も継続すると考えています。

出所：PPM・アメリカ・インク

## ➤ 米国における今後の注目点

米中貿易摩擦の行方	✓ 足元では交渉進展期待があるも、依然として流動的
2020年11月の大統領選挙	✓ ウクライナ疑惑を巡る弾劾調査の加速、パリ協定離脱の影響 ✓ 2~6月の予備選挙・党員集会の動き
巨額のインフラ投資計画の実現	✓ トランプ政権・民主党・共和党による超党派での取り組みの行方

## ➤ 設定来の基準価額等の推移

イーストスプリング米国小型厳選バリュー株ファンドAコース（為替ヘッジあり）  
（2017年4月20日～2019年10月31日）



イーストスプリング米国小型厳選バリュー株ファンドBコース（為替ヘッジなし）  
（2017年4月20日～2019年10月31日）



※基準価額については、Aコースはファンド設定日の前営業日、Bコースはファンド設定日を10,000として表示しています。  
※基準価額は、信託報酬控除後の数値です。※基準価額（分配金再投資）は、信託報酬控除後かつ税引前分配金を全額再投資したものと計算しています。  
※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

## ➤ 期間別運用実績（騰落率）

イーストスプリング米国小型厳選バリュー株ファンドAコース（為替ヘッジあり）  
（2019年10月31日現在）

期間	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	3.5%	-2.5%	-4.0%	-4.1%	-	-3.6%

イーストスプリング米国小型厳選バリュー株ファンドBコース（為替ヘッジなし）  
（2019年10月31日現在）

期間	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	4.5%	-1.7%	-5.2%	-5.0%	-	2.1%

※上記はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。  
※期間別騰落率は、基準価額（分配金再投資）をもとに計算しています。

## <当資料に関してご留意いただきたい事項>

- ◆当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、当ファンドの参考となる情報の提供およびその内容やリスク等を説明するために作成したお客様向け資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ◆当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆当資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- ◆当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

## <投資信託のお申込みに関してご留意いただきたい事項>

- ◆投資信託は、預貯金および保険契約ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護および補償の対象ではありません。また、登録金融機関で取扱う場合、投資者保護基金の補償対象ではありません。
- ◆過去の実績は、将来の運用成果を約束するものではありません。
- ◆投資信託は、株式、公社債等の値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、ご購入時の価額を下回ることもあり、投資元本が保証されているものではありません。これらに伴うリスクおよび運用の結果生じる損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。
- ◆ご購入の際は、あらかじめ販売会社がお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等（目論見書補完書面を含む）の内容を必ずご確認のうえ、投資のご判断はご自身でなさいますようお願いいたします。

○当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、当ファンドの内容やリスク、市場動向等を説明するための参考資料として作成したお客様向け資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。○当資料のデータ・分析等は過去の一定期間の実績や将来の予測を示したものであり、将来の投資成果および市場環境の変動等を保証するものではありません。○当資料の「当ファンドのリスク」「ファンドの費用」を必ずご覧ください。

※ラッセル・インデックスはラッセル社が公表する指数です。ラッセル1000指数は、米国市場の時価総額上位1,000社で構成される代表的な米国大型株指数です。また、ラッセル2000指数は、米国市場の時価総額上位3,000社のうち、下位2,000社で構成される代表的な米国小型株指数です。ラッセル・インデックスはラッセル・インベストメント・グループが開発した指数であり、著作権等の知的財産その他一切の権利はラッセル・インベストメント・グループに帰属します。ラッセル・インベストメント・グループは、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものでなく、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

## ファンドの特色

### 1 主として、米国の金融商品取引所に上場されている（上場予定を含みます。）小型株に投資を行います。

▶ 投資にあたっては、独自の調査により個別企業の財務内容等を分析し、小型株市場全体や過去の水準と比較して割安と判断される銘柄を選択します。

### 2 株式等の運用は、ピーピーエム アメリカ インク（P P M A）が行います。

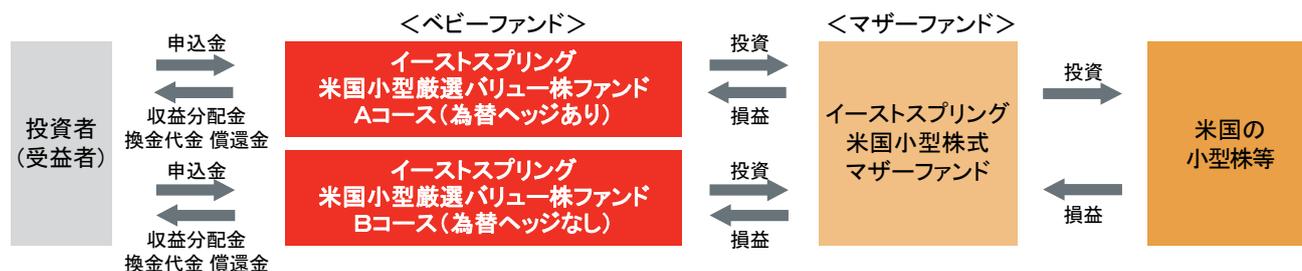
- ▶ ピーピーエム アメリカ インクに株式等の運用の指図に関する権限を委託します。
- ▶ 長期的かつ堅実な視点が求められる保険資金の運用において、株式投資の豊富な経験を有しています。
- ▶ ボトムアップ・アプローチに基づく伝統的なバリュー投資スタイルで運用を行います。

### 3 <Aコース(為替ヘッジあり)>と<Bコース(為替ヘッジなし)>の2つのコースがあります。

- ▶ <Aコース(為替ヘッジあり)>  
原則として、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動の影響を完全に排除できるものではありません。
- ▶ <Bコース(為替ヘッジなし)>  
原則として、対円で為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。

## ファンドの仕組み

- ▶ 当ファンドは、ファミリーファンド方式を採用し、「イーストスプリング米国小型株式マザーファンド」への投資を通じて、主として米国の小型株に投資します。
- ▶ 「ファミリーファンド方式」とは、投資者のみなさまはベビーファンドに投資し、ベビーファンドはその資金を主としてマザーファンドに投資して、その実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。



### 4 年2回決算を行い、収益配分方針に基づき分配を行います。

- ▶ 原則として、毎年3月25日および9月25日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。
- ▶ 分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

※ 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

## イーストスプリング・インベストメンツ株式会社について

170年以上の歴史を有する英国の金融サービスグループの一員です。

- ▶ イーストスプリング・インベストメンツ株式会社は、1999年の設立以来、日本の投資家のみなさまに資産運用サービスを提供しています。
- ▶ イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社は、英国、米国、アジアをはじめとした世界各国で業務を展開しています。
- ▶ 最終親会社グループはいち早くアジアの成長性に着目し、2019年4月末現在、アジアでは14の国や地域で生命保険および資産運用を中心に金融サービスを提供しています。最終親会社グループの運用資産総額は、2018年12月末現在、約6,570億ポンド※(約92兆円、1ポンド=140.46円)に上ります。

**PPMAMERICA**

- ▶ 最終親会社グループの米国の運用拠点。
- ▶ 米国シカゴに本拠地を置き、運用資産総額は約1,174億米ドルに上ります(2018年12月末現在)。
- ▶ 運用業務に特化しており、安定性が重視される生命保険や年金等の運用に高い実績を持ちます。

## 投資リスク

### 基準価額の変動要因

投資信託は預貯金とは異なります。

当ファンドは、値動きのある有価証券を実質的な主要投資対象とするため、当ファンドの基準価額は投資する有価証券等の値動きによる影響を受け、変動します。また、外貨建資産に投資しますので、為替変動リスクもあります。したがって、当ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。当ファンドの運用による損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。

### <基準価額の変動要因となる主なリスク>



#### 株価変動リスク

株式の価格は、内外の政治経済情勢、株式を発行する企業の業績および信用状況等の変化の影響を受け変動します。当ファンドは主に株式に実質的に投資を行いますので、基準価額は株価変動の影響を受けます。

当ファンドは小型株に実質的に投資を行います。小型株は株式市場全体の動きと比較して株価が大きく変動することがあり、基準価額に大きな影響を与える場合があります。また、小型株の値動きが株式市場全体の値動きと異なる場合、基準価額の値動きは株式市場全体の値動きと異なる場合があります。



#### 為替変動リスク

##### <Aコース(為替ヘッジあり)>

実質的な組入外貨建資産において、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、完全にヘッジすることができるとは限らないため、米ドルの対円での為替変動の影響をすべて排除できるものではありません。外国為替の予約取引等により為替ヘッジを行うため、為替市場の需給環境により日米の短期金利差相当分以上のヘッジコストがかかる場合があります、基準価額の下落要因となることがあります。

##### <Bコース(為替ヘッジなし)>

実質的な組入外貨建資産において、原則として対円での為替ヘッジを行いませんので、為替レートの変動の影響を受けます。為替相場が円高方向に変動した場合には、基準価額の下落要因となります。



#### 信用リスク

有価証券の発行者の経営・財務状況やそれらに対する外部評価の変化により、組入れた有価証券の価格が大きく下落し、基準価額の下落要因となる場合があります。



#### 流動性リスク

組入れた有価証券の市場規模が小さく取引量が少ない場合や市場が急変した場合、当該有価証券を希望する時期や価格で売却できないことがあり、基準価額の下落要因となる場合があります。

(注) 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

### その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 当ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。マザーファンドは、複数のベビーファンドの資金を運用する場合があるため、他のベビーファンドからのマザーファンドへの資金流入の動向が、基準価額の変動要因となることがあります。
- 金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情(流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受け付けを中止することおよびすでに受け付けたお申込みの受け付けを取消することがあります。
- 分配金は計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。))を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。分配金はファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後は純資産が減少し、基準価額が下落する要因となります。投資者のファンドの購入価額によっては、支払われた分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上りが小さかった場合も同様です。

※詳細につきましては、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

## お申込メモ

購入単位	販売会社がそれぞれ別に定める単位とします。
購入価額	お申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	お申込みの販売会社の定める日までにお支払いください。
換金単位	販売会社がそれぞれ別に定める単位とします。
換金価額	換金の受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額とします。
換金代金	換金の受付日から起算して原則として5営業日目からお支払いします。
購入・換金申込受付不可日	営業日が以下の日のいずれかにあたる場合は購入・換金のお申込みはできません。 ①ニューヨーク証券取引所の休場日 ②ニューヨークの銀行休業日 なお、上記以外に委託会社の判断により、購入・換金申込受付不可日とする場合があります。
申込締切時間	原則として午後3時までに販売会社が受付けた分を当日のお申込分とします。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、また信託財産の効率的な運用を維持するため、当ファンドの残高規模、市場の流動性の状況等によっては、一定の金額または純資産総額に対し一定の比率を超える大口の換金に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受け付けを中止すること、すでに受け付けたお申込みの受け付けを取消すこと、またはその両方を行うことがあります。
信託期間	2017年4月20日から2027年3月25日まで
繰上償還	以下のいずれかにあたる場合には、受託会社と合意のうえ、繰上償還を行うことがあります。 ①各ファンドについて、純資産総額が20億円を下回ることとなった場合 ②受益者のため有利であると認める場合 ③やむを得ない事情が発生した場合
決算日	毎年3月25日および9月25日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	原則として毎決算時に、収益分配方針に基づき分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。 また、受益者と販売会社との契約によっては、税金を差引いた後、無手数料で収益分配金の再投資が可能です。
信託金の限度額	各ファンド 2,000億円
公告	日本経済新聞に掲載します。
運用報告書	委託会社は、年2回の決算時および償還時に交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて知っている受益者に交付します。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」、未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。益金不算入制度および配当控除の適用はありません。

## ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	<b>3.85%(税抜3.5%)を上限</b> として販売会社がそれぞれ別に定める率を、お申込受付日の翌営業日の基準価額に乗じて得た額とします。
信託財産留保額	換金の受付日の翌営業日の基準価額に <b>0.3%</b> の率を乗じて得た額とします。

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対して <b>年率2.035%(税抜1.85%)</b> 計算期間を通じて毎日費用として計上され、日々の基準価額に反映されます。信託財産からは毎計算期末または信託終了時に支払われます。	
	委託会社	年率0.990%(税抜0.90%)
	販売会社	年率0.990%(税抜0.90%)
	受託会社	年率0.055%(税抜0.05%)
その他の費用・手数料	信託事務の処理等に要する諸費用(監査費用、目論見書および運用報告書等の印刷費用、公告費用等)は、純資産総額に対して年率0.10%を上限とする額が毎日計上され、日々の基準価額に反映されます。信託財産からは毎計算期末または信託終了時に支払われます。また、組入有価証券の売買時の売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等についても信託財産から支払われます。 「その他の費用・手数料」は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を表示することができません。	

※委託会社の報酬には、マザーファンドの運用の委託先への報酬が含まれます。

※投資者のみなさまが負担する費用の合計額は、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 委託会社およびファンドの関係法人

委託会社およびその他の関係法人の概要は以下の通りです。

委託会社	<b>イーストスプリング・インベストメンツ株式会社</b> 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号 加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 当ファンドの委託会社として信託財産の運用業務等を行います。
受託会社	<b>野村信託銀行株式会社</b> 当ファンドの受託会社として信託財産の保管・管理業務等を行います。
販売会社	販売会社に関しては、次ページをご覧ください。 販売会社は、当ファンドの受益権の募集の取扱いおよび販売、換金に関する事務、収益分配金・換金代金・償還金の支払いに関する事務等を行います。

※詳細につきましては、最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

## 販売会社一覧 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お申込先

### Aコース(為替ヘッジあり)

金融商品取引業者等	金融商品取引業者	登録金融機関	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
エイチ・エス証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第35号	○			
株式会社SBI証券	○		関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡三オンライン証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第169号	○			
東海東京証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
播陽証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第29号	○			
ほくほくTT証券株式会社	○		北陸財務局長(金商)第24号	○			
むさし証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第105号	○			○
楽天証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

※上記は当資料作成時点での予定を含む情報を記載しています。

### Bコース(為替ヘッジなし)

金融商品取引業者等	金融商品取引業者	登録金融機関	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
エイチ・エス証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第35号	○			
株式会社SBI証券	○		関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡三オンライン証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第169号	○			
東海東京証券株式会社	○		東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
播陽証券株式会社	○		近畿財務局長(金商)第29号	○			
ほくほくTT証券株式会社	○		北陸財務局長(金商)第24号	○			
むさし証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第105号	○			○
楽天証券株式会社	○		関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

※上記は当資料作成時点での予定を含む情報を記載しています。

照会先:  
**イーストスプリング・インベストメンツ株式会社**  
 TEL.03-5224-3400  
 (受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)  
 ホームページアドレス <http://www.eastspring.co.jp/>

### ご留意事項

○当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、当ファンドの参考となる情報の提供およびその内容やリスク等を説明するために作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。○当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。○当資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。○当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。○投資信託は、預貯金および保険契約ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護および補償の対象ではありません。また、登録金融機関で取扱う場合、投資者保護基金の補償対象ではありません。○ご購入の際は、あらかじめ販売会社がお渡する最新の投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を必ずご確認のうえ、投資のご判断はご自身でなさいますようお願いいたします。